

本日は、私たちのために、このような盛大な成人式を催していただきまして、誠にありがとうございます。市長様をはじめ、ご来賓の方々、多くの関係者の方々に心より感謝申し上げます。

私たちは、この自然豊かな長野市に生まれ、そこで沢山のことを吸収しながら成長し、本日、新成人としての誓いを共にすることができました。これもひとえに、地域の方々や先生方、そして、いつも温かく見守ってくれた家族の支えがあったからであり、ここに成人の報告が出来ることを大変嬉しく思います。

さて、この度、私たちは成人を迎えますが、昨年の春以降、新型コロナウイルスの影響で、経済は低迷し、3回にも渡る緊急事態宣言や、オンライン化など私たちの日常は大きな変化を余儀なくされました。

全国的に暗いニュースが目立つ日々が続き  
より「死」というものに向き合う機会が増えたと感じております。

また、医療従事者をはじめ、最前線で活動されている皆様に、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

それぞれ思うことは沢山あると思いますが、それを逆手に取り、このような状況だからこそ、私たち新成人が先頭に立ち、各々が将来を考え、協力しながらこの世の中を元気にしていければいいなと感じております。

私事になりますが、高校を卒業後、進学のため群馬県に出ました。初めて故郷を離れ、様々な経験をする中で、自分の故郷を外から見たときに、長野市へ思いの深さを再確認することができました。

そのため、卒業後は地元に戻り、この春からご縁のあった地元の企業で働かせていただいています。

今の私にできることはいくらありませんが、真面目に仕事に取り組み、一緒に働く方々、地域の方々にも信頼される働き方を目指し、地元を元気にしていきたいと思っております。

話は変わりますが、新成人の皆さん。

「どんな些細な出来事でも、真っ先に話す人を思い浮かべてください」と言われたら、皆さんは誰の顔を思い浮かべますか。

成人し、大人になるに連れ、それぞれの置かれる境遇や生活、目指すものも変わってきます。そして、職場や家庭でより大きな役割を背負っていくこととなります。

そのような時に、「どんなことでも言い合える存在」はとても貴重だと思います。  
それは、時にはお互いに指摘し合い、間違えた時には正しい方向に導いてくれる、そんな存在です。私にもそんな人がいます。ただ、そのような関係はすぐに築き上げられるものではありません。だからこそ、今、思い浮かんだ人のことを、そして、今、皆さんの隣にいる仲間のことを大切にして、これから訪れる様々な環境や出会いを、それぞれの場所で一緒に乗り切っていきましょう。

最後になりましたが、まだまだ未熟な私たちです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく  
お願いいたします。そして、多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、成人としての決  
意を忘れず、思いやりの心、感謝の心を忘れず、生きていくことを誓って新成人代表  
のあいさつとさせていただきます。

新成人代表 松本 詩音